

## 平成28年度 第2回 富田林市総合計画フォローアップ会議 会議録概要

◆日 時：平成28年10月5日（水）（13：30～16：30）

◆場 所：富田林市役所 5階 介護認定審査会室

◆出席者：吉川委員（座長）、大西委員、前川委員、湯口委員

事務局：渡部、中谷、塚本

発言者	発言概要
事務局	<p>■委員の全員出席により会議が成立していることを報告。</p> <p>■傍聴人の確認 ⇒傍聴人なし。</p> <p>～座長による議事進行～</p> <p>■第1回の会議録の確認 ⇒修正なし。</p>
座長	<p>■第4次総合計画 取り組み状況の総括について 前回の会議において、事務局から「第4次総合計画取組状況の総括について（案）」に基づき説明を受けたが、時間の都合上、具体的な議論が出来なかったため、本日ははじめの議題としたい。</p>
委員	<p>確認になるが、この資料は事務事業評価表を集約したものとなるのか。</p>
事務局	<p>事務事業評価表とは別に、評価を行っていない事業も含めて全計画事業を対象に調査を行った結果を集計したものとなっている。</p>
委員	<p>この資料は、職員側で整理・総括をしてもらった資料と認識している。フォローアップ会議としては、この資料を参考にしながら、全体を評価するという考え方になるのか。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり、この資料は、フォローアップ会議として計画の進捗を点検していただくために、事務局側で整理したものとなる。フォローアップシート等の他の資料とあわせて、10年間の全体の進捗状況を点検いただきたいと考えている。</p>
座長	<p>基本計画第1章で言うと、3つの市民参加のしくみづくりに関する具体的な取り組み内容がフォローアップシート①で確認をできるが、取り組みが計画全体で、どのように展開されているのかを確認することが出来なかった。そうした意味では、市の自己評価という形にはなるが、こうした資料がまとめられたことの意義は大きいと感じ</p>

	る。
委員	事務局側で整理した資料とはなるが、これまでのフォローアップ会議での議論を踏まえて作られた資料と考えるため、市長への報告の際には、資料としてあわせて提示するのが良い。
委員	第4次総合計画では、3つの市民参加のしくみづくりを進めていくこととしたが、職員にとってはどうだったのだろうか。
事務局	近年、国の動向としても、福祉分野等で地域力といった考え方が出てきており、これに向けた取組みなども進められてきている。そういった意味では、第4次総合計画策定当時に斬新な考え方として、市民参加のしくみづくりを横糸として設定をしたが、時代もそういった方向に進んできている。 そのような中で、職員自身も横糸としての市民参加のしくみづくりの考え方に、実感が持ってきているのではないかと考える。
委員	一昨年度と昨年度に担当課との意見交換も行ったが、市民参加と聞くと、身構えるような受け止め方ではなく、市民参加が進むことが、業務が前に進むという受け止め方に変わってきているのではないかと感じる。
委員	市民と行政の関係の構図も、この10年で大きく変わってきているのではないかと も思う。 ただ一方で、参加する市民が固定化しているのではないかという懸念もある。
委員	そういった部分では、会議などであれば開催時間を工夫するなどの検討も必要ではないかと考える。 また、市民参加のしくみづくりだけではないと思うが、ここまでやったからゴールということではなく、10年前から見れば進んだと見えることも、現時点で見れば基準となる視点も変わるので、あまり進んでいないと感じることもあるように感じる。
座長	資料では、第2章第5節は「十分取組んでいる」という事業が多い結果となっているが、要因などはあるのか。
事務局	第4次総合計画の施策体系が影響しているものと考えられる。第2章第5節は環境政策が含まれており、環境問題への対応は、市民との協力関係が無ければ進めることもできず、そうした部分もあって、「十分取組んでいる」という事業が多い結果となっているものとする。
座長	フォローアップ会議としては、これまでも大きな視点で進捗を点検・評価してきたということもあり、その視点で各種資料の整備も進めてきた。こうした点を考えれば、第4次総合計画の個別具体的な施策の内容についてまで、評価をすることは難しい

	<p>と考える。</p>
委員	<p>同感である。</p>
委員	<p>特に基本計画第2章の部分が難しいように感じる。</p>
座長	<p>今年度の資料やこれまでの議論を踏まえて考えれば、基本計画第1章については、第1回会議でも確認したように、3つの市民参加のしくみづくりに向けた取組みは、フォローアップシート①を見ても経年的に取組みが増えてきており、そういった点では順調に進展してきたものと言える。しかしながら取組みの浸透度合いという点では、取組状況調査の結果を見ると、さらに取組みを進めていく余地があると言え、市民参加のしくみづくりについての考え方をしっかりと継承しながら、取組みを深めていく必要があるものと考ええる。</p> <p>基本計画第2章については、総合計画の内容を意識しながら、事業の目的を明確にし、適切な成果指標の設定し、PDCAサイクルの考えに基づきながら事業を進めていくことが重要であることを、これまでの会議でも提言してきた。全事業ではないものの、事務事業評価に取組みながら、事業を進めてきたことは、こうした考えを具体化しているものとも考えられ、そのような視点に立てば、基本計画第2章についても、着実に進められてきたものと考えられる。ただし成果指標の設定方法や結果に基づく改善（PDCAのA）についての考え方については、さらなる検討の余地もあるものと考ええる。</p> <p>以上のような整理になると思うが、どうか。</p> <p style="text-align: center;">（各委員了承）</p>
委員	<p>補足になるが、PDCAサイクルにおいては、成果指標の達成状況によって、効率・効果という部分に目が行きがちになり、極端に言えば、成果指標が達成できていないので事業を廃止するといった考えになってしまう恐れもある。事業の性質によっては、効果が現れにくいものもあり、物事の本質を見失うことのないよう、そうした視点も持って取組みを進めてほしい。</p> <p>また、以前のフォローアップ会議でも話題となったが、コスト優先による弊害ということもあるので、その点も十分配慮してほしい。</p> <p>～休憩～</p>
座長	<p>■フォローアップ会議の総括について</p> <p>それでは、今年度の会議の3点目の議題として、これまでのフォローアップ会議の議論を振り返りつつ、フォローアップ会議として「新たな総合ビジョン」に継承したい・継承すべきと考えるポイントを整理していきたい。</p>

委員	<p>過去のフォローアップ会議報告書も見直してみたが、この間、フォローアップ会議では、発想の転換の重要性や、フォローアップシートなどの資料・データの蓄積と市民・行政における有効活用の促進などをメッセージとして提言してきた。</p> <p>また市民参加のしくみづくりが進んできたことは評価をしたいと思っているが、進んできたからといって、今後進める必要がないということではないので、総合ビジョンにおいても、PDCA サイクルの中で進めてほしいと考えている。</p> <p>ただ、フォローアップ会議の取組みに、広がりを持たせることが出来なかったのは残念と感じている。定期的に報告する場をつくるなど、広げるためのしくみを併せて考えていくことが出来れば良かったと考える。</p>
委員	<p>同感である。</p>
座長	<p>あらためて第4次総合計画を振り返ると、基本計画の答申の際に、これからの行政に期待したいことを、①市民自治の必然性、②選択と集中の必要性、③安定した地域経営、④総合的視野の必要性、⑤職務の目的意識、⑥現場からの発案、として整理している。こうした部分も意識しながら、フォローアップ会議としての考えを整理していくのも一つの方法と考える。</p>
委員	<p>原点に立ち返って、振り返り、まとめていくのは良いと考える。</p> <p>第4次総合計画の冊子では、表紙の次に全体を表わすイラストも掲載しており、イラストの樹木の根の部分に、財源として「地域の経済」を示したことに大きな意味があると考えている。第4次総合計画では今後の予算などの記載はしなかったが、こうした視点は重要と考える。</p> <p>税収の推移などはどうか。</p>
事務局	<p>資料9の第9期実施計画の10ページに歳入歳出の推移を記載している。地方税としては、増減があるものの減少傾向にあり、平成26年度は134億9千7百万円となっている。</p>
座長	<p>総合ビジョンを進めていくうえで、フォローアップ会議のような場の必要性についてはどうか。</p>
委員	<p>第三者的な立場で、外からの視点は重要だと考える。</p>
座長	<p>総合ビジョンを進めていくうえで、フォローアップ会議を継続するかは、行政側の判断に委ねることになると思うが、現在と同様のしくみの必要性は継承すべきと考える。</p>
委員	<p>仮に同様のしくみを継続するのであれば、その担い手をいかに確保していくのが課題になると考える。市民ワークショップなどの機会を通じて、市民が育ち、その担</p>

	<p>い手となることが望ましいのではないかと思う。</p> <p>こうした取組みが進み、担い手となってもらえる市民が出てくれば、我々にとってもそうであったように、その市民にとってもプラスに働くのではないかと考える。</p> <p>これまでの会議でも言ってきたことであるが、市民自身も育っていく必要性があるものと考えてるので、総合ビジョンでは市民を人材として育成する観点を持つべきではないかと考える。</p> <p>事務局 市民協働という点で言うと、現状としては、まだまだお互いに協働というものに慣れていないのではないかと感じる。そのため市民と職員の双方が育っていく必要があり、そのうえで協働が進んでいくのではないかと感じている。</p> <p>委員 第4次総合計画の基本計画第1章の考え方がまさにその考え方に立っている。人材育成という視点のほか、その人材が持つ能力を、十分に発揮してもらえる環境づくりのようなことも必要ではないかと感じる。</p> <p>座長 時間の都合もあるため、本日の会議は終了したいと考えるが、次回会議では最終的なまとめもしていきたいので、各委員で過去の報告書や基本計画の答申の内容も踏まえながら、「新たな総合ビジョン」に継承したい・継承すべきと考えるポイントを、明日の次回会議までに考えてきていただきたい。</p> <p style="text-align: center;">（各委員了承）</p> <p>第3回・第4回の日程等の確認をして終了。  （第3回は10月6日（木）14：00～5階 政策推進課会議室で行う。  第4回は11月2日（水）12：30～5階 政策推進課会議室で行ったうえで、13：00～市長への報告を行う。）</p>
--	--